

「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」

第10回リレーフォーラム 25年後のために～次世代の育成 -データで語る福岡の今・未来-

2011年8月27日

(財)福岡アジア都市研究所 専門研究員 山下永子



注:本資料の数量を表すコメント(〇倍、〇億、等)は、イメージを伝えやすくするために概数を用いている場合があります。
数字を引用される場合は、グラフ・数表中のデータを用い、出典先を記載の上ご使用ください。

I. 地球・世界・日本の未来

- (1)人口
- (2)経済力
- (3)購買力
- (4)地球環境
- (5)未来技術

II. 福岡の今と未来

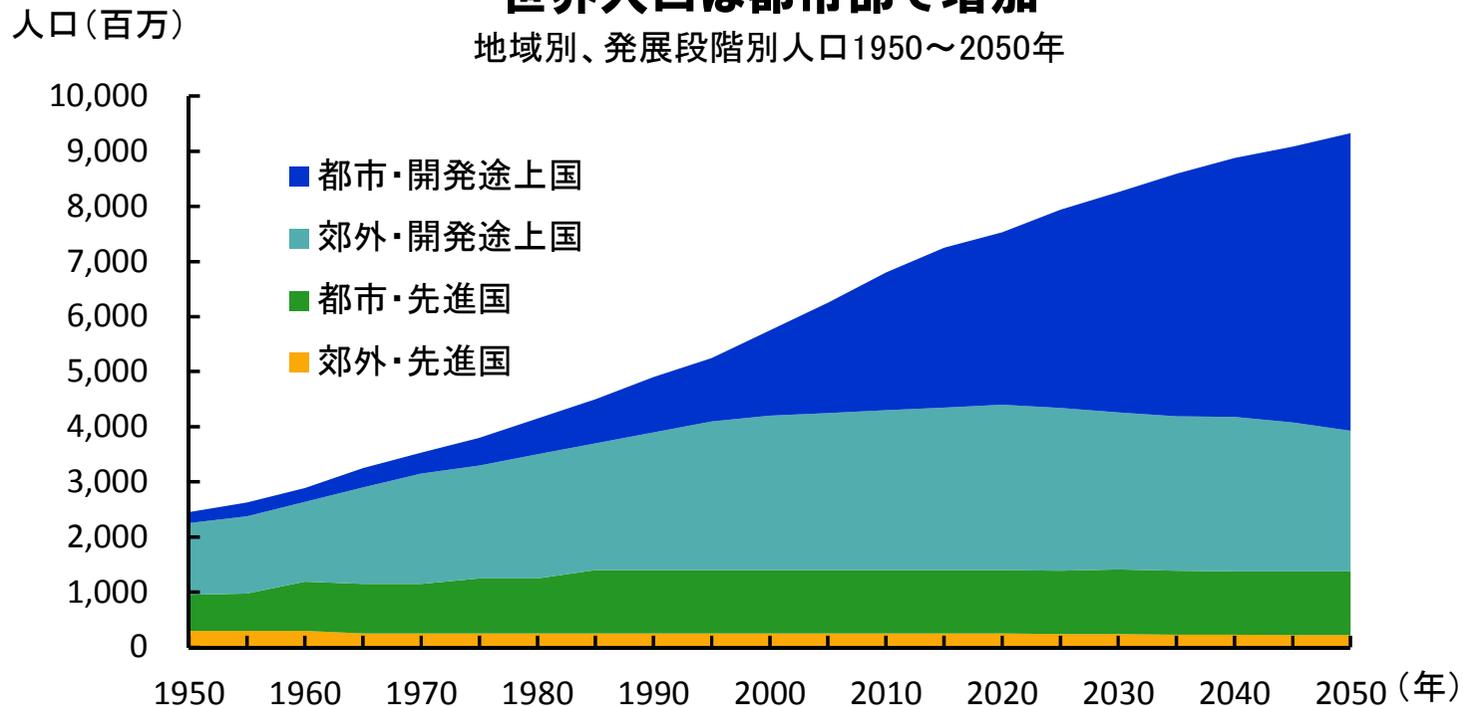
- (1)人口
- (2)次世代の担い手たち
- (3)次世代と家庭・社会
- (4)世界のこどもの将来観
- (5)国を超えるこどもたち
- (6)国際的評価を受けるまち

III. 25年前を思い出しつつ、25年後を展望

- 国連は、今日から**2050年までの間に人口は70億人から93億人**になると予測
そして、その**98%は、開発途上や新興地域の都市部**で増加
- 25年後、**2036年頃の世界人口予測は、87億人**

世界人口は都市部で増加

地域別、発展段階別人口1950～2050年



資料:WBCSD「Vision 2050」2010年(グラフはUN Population Division, World Population Prospects:The 2008 Revision, 2008を基に作成されたもの)、コメントはUN Population Division, World Population Prospects:The 2010 Revision, 2010による

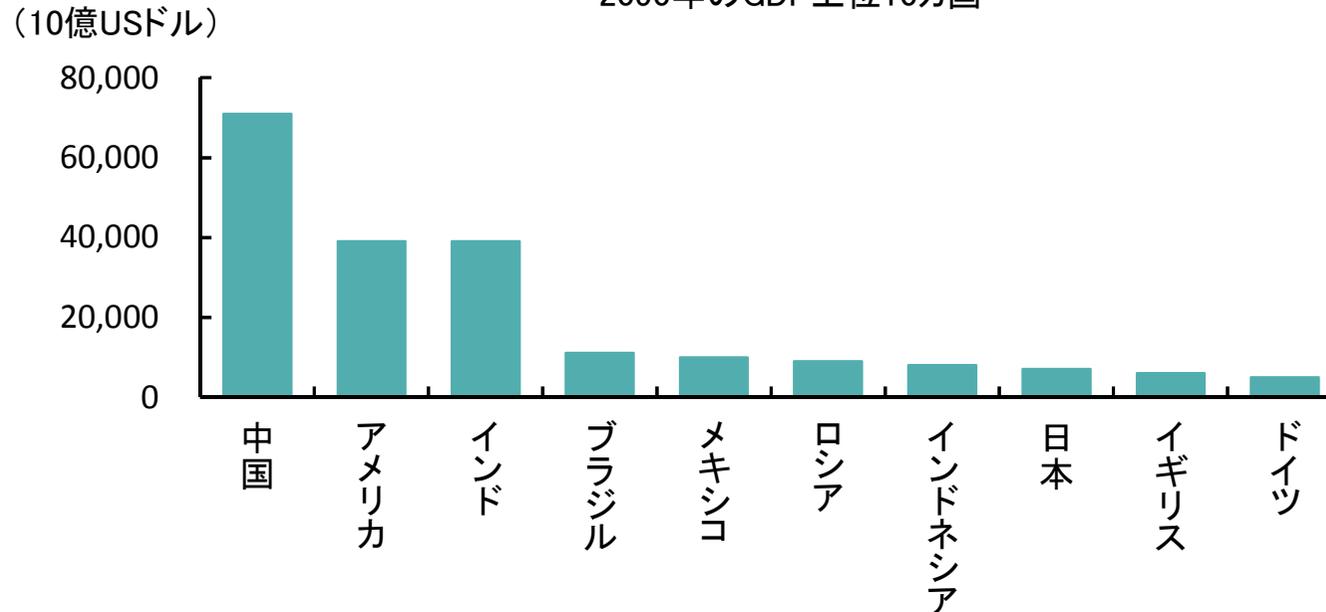
(注)日本語訳は(財)福岡アジア都市研究所による

Ⅰ. 地球・世界・日本の未来(2)経済力

- 2050年、GDP世界一の座は中国に移り、2位に倍近い差
- 米国は辛うじて2位を維持しているが、インドに抜かれそうに
- 日本は8位、上位はBRICsなど新興国の独壇場に

移動するグローバル経済力

2050年のGDP上位10カ国



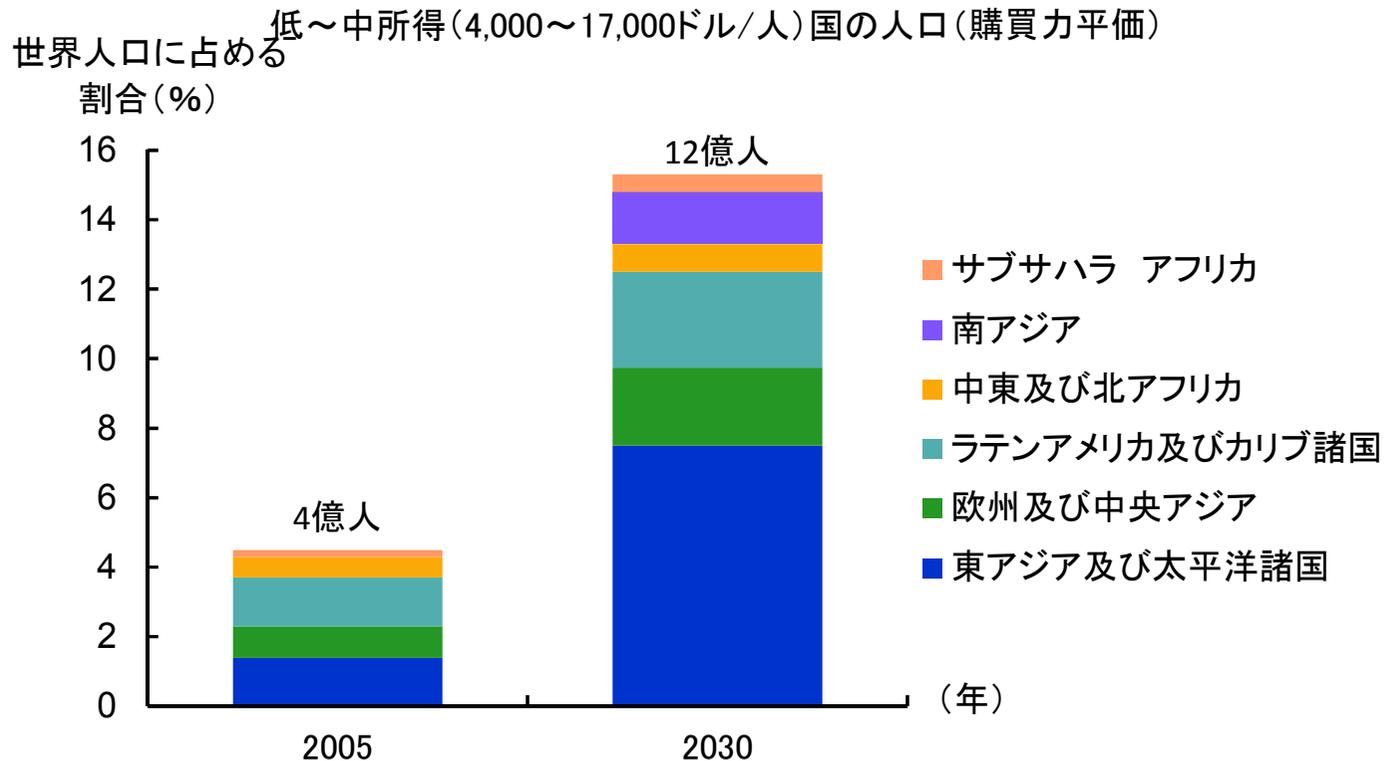
資料: WBCSD「Vision 2050」2010年 (Goldman Sachs, BRICs and Beyond, 2007を基に作成されたもの)

(注) 各国GDPは2006年為替レートによる

(注) 日本語訳は(財)福岡アジア都市研究所による

- 2030年までに、低所得・中所得の国々から、新たに8億人の中間層が誕生(2005年比)
そして、その約半数がアジア太平洋地域の国々から

ミドルクラスの国が急速に成長

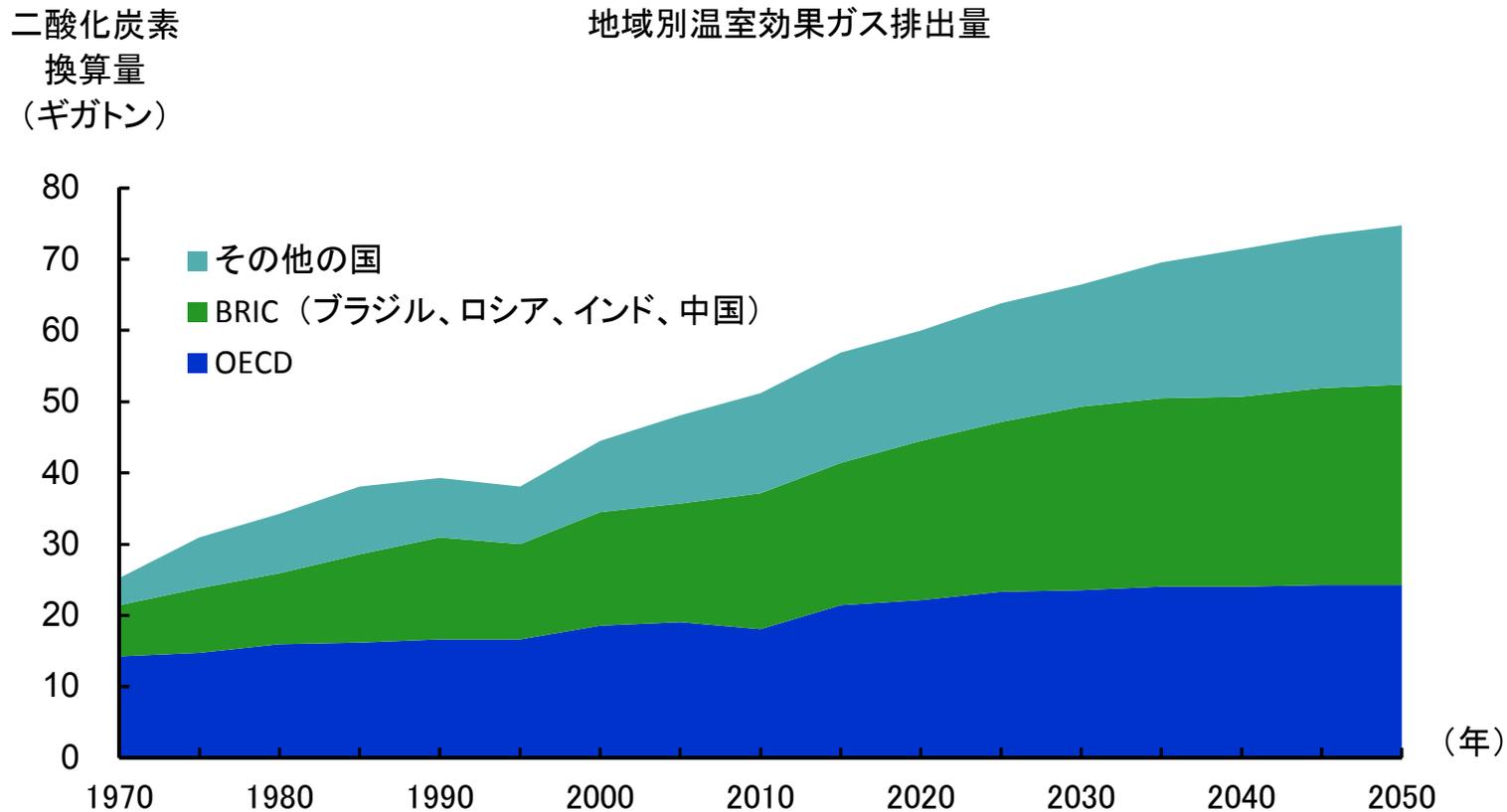


資料: WBCSD「Vision 2050」2010年 (World Bank, Global Economic Prospects, 2007を基に作成されたもの)
(注) 日本語訳は(財)福岡アジア都市研究所による

1. 地球・世界・日本の未来(4)地球環境

- 2050年までに温室効果ガスは52%増加し、地球の温度は1.7-2.4度上昇
その結果、インフラや穀物などに深刻なダメージ

温室効果ガス排出量は引き続き上昇



資料:WBCSD「Vision 2050」2010年 (OECD, Environmental Outlook to 2030, 2008を基に作成されたもの)
(注)日本語訳は(財)福岡アジア都市研究所によるもの

1. 地球・世界・日本の未来(5)未来技術

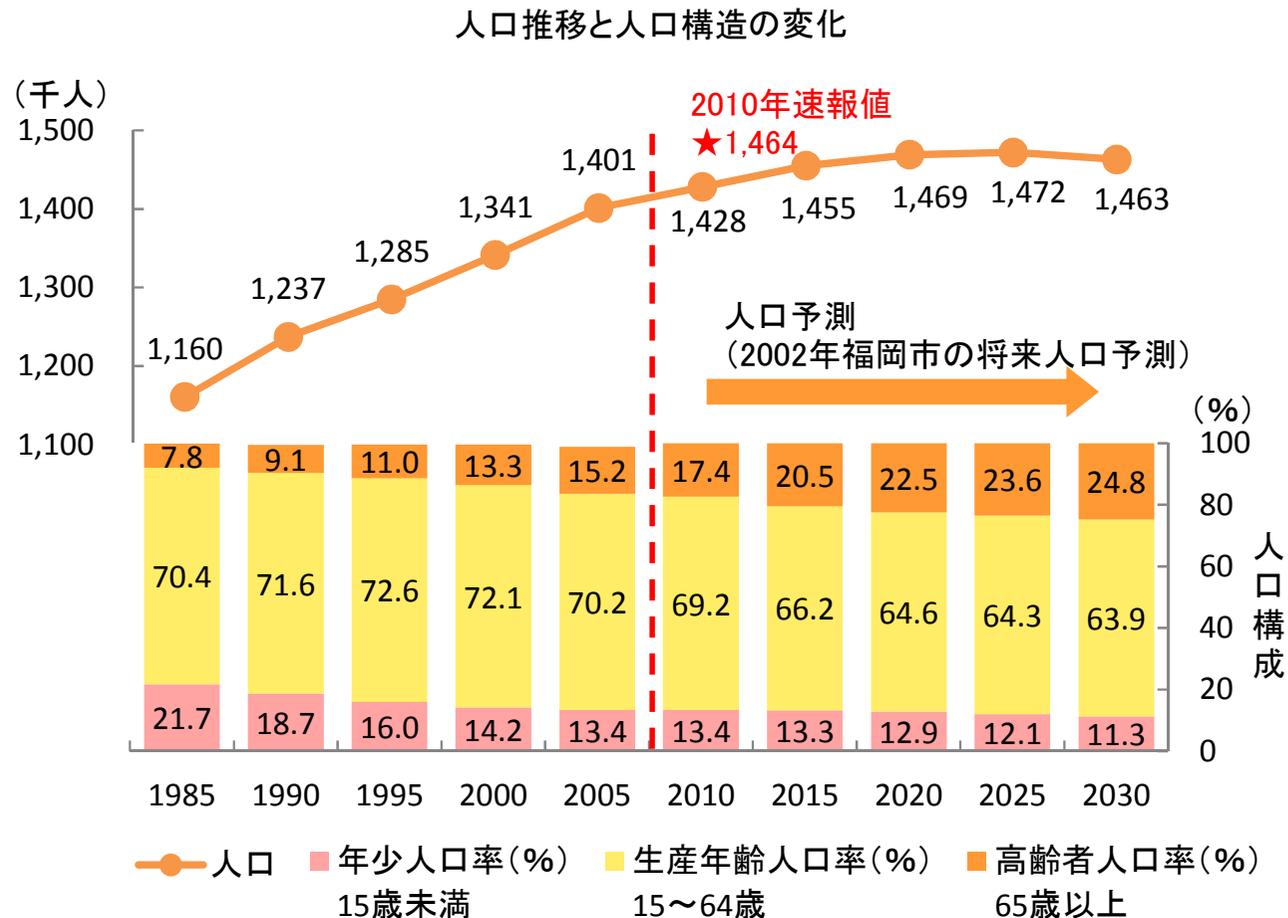
●場所、時間、言語はもはや障害でなくなり、いつでもどこでも誰とでも働く世界になる

未来技術年表:研究者が予測する技術の社会実用化予測年

実現年	課題
2022	大学院教育から職業訓練においてリカレント教育が一般的になり、社会・経済の変動に対応して 人材が流動 するようになる
	国際的なネットワーク 人材 マネジメントシステムが構築され、高度専門家が 国境を越えて自由に移動 することが促進されるようになる
2025	我が国において、現在の リアルオフィスの勤務者が半分 になるような バーチャルオフィスシステム （テレワークの発達により、各人がそれぞれ他所にしながら、勤務者の業務の管理が遠隔でできるようになり、指さして指示できたり、内緒話もできたり、相手の手元のプリンターに印刷して書類を回したりなど、あたかも一堂に会して作業をしているよう臨場感を持つ）
2026	コンテンツ（映画、音楽、書物、マンガ等）を創出できる人材の育成を目的とした学部・学科等が我が国の総合大学の50%で設立される
	グローバル化の進展により、 日本の大企業の約半数で社内公用語が英語 になる
2027	人間・ロボット・機械が仕事場所を共有 し、安全・安心に仕事をするために必要な技術と制度
2028	売上額の1/2が海外で発生するようなグローバル化した日本の大企業では、国内法人においても新たな協働システムが構築され、その中樞を担う管理職、専門職の1/3以上に外国人労働者を採用するようになる
2032	初等教育において国外留学する生徒や、インターナショナルスクールに通う生徒が20%以上 になる

II. 福岡の今と未来(1)人口

- 2025年ごろ、福岡市の人口はゆるやかな減少に転じるが、老化は勢いを増しながら進行
- 2030年、福岡市・福岡都市圏は現状維持の人口だが、九州では1300万⇒1100万人へ減

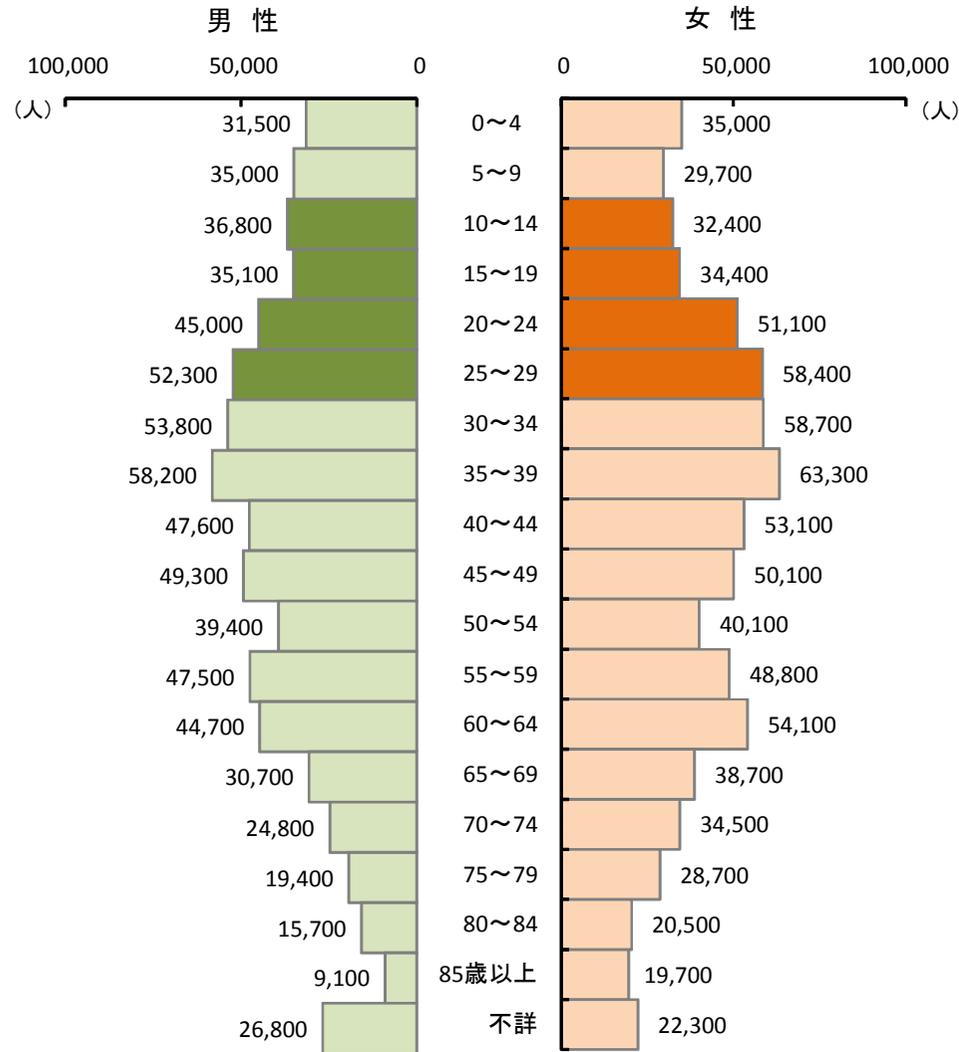


資料: 国勢調査(1985-2005年)、★は国勢調査速報値(2010年)、福岡市による推計値(2010~2030年)

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

●25年後の35～54歳、次世代を担う若い市民(10～29歳)は、約35万人

福岡市 男女別5歳階級人口
 (2010年国勢調査速報値)

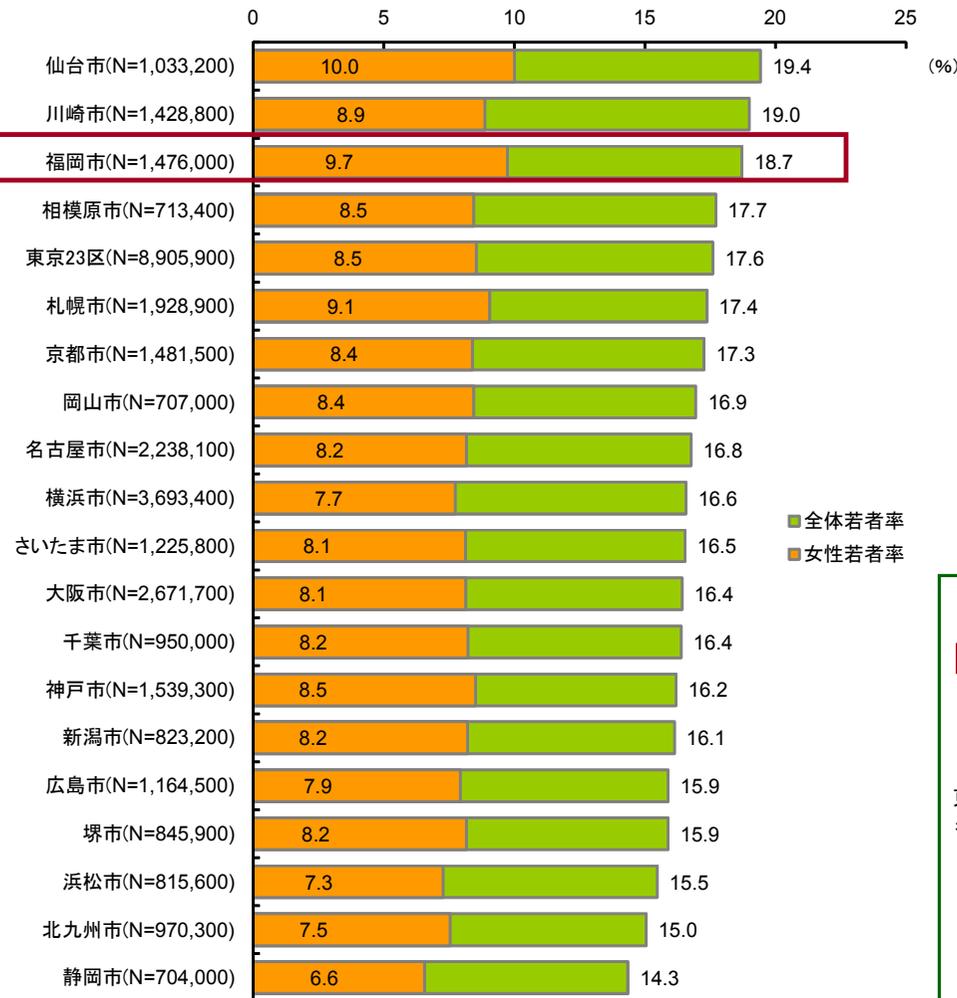


資料:平成22年国勢調査
 (注)1%抽出による速報値

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

●福岡市は大都市の中でも最も若者率(特に女性)が高く、活気があり華やかな都市だったがこの5年で、若者率は、仙台市、川崎市に抜かれて3位に

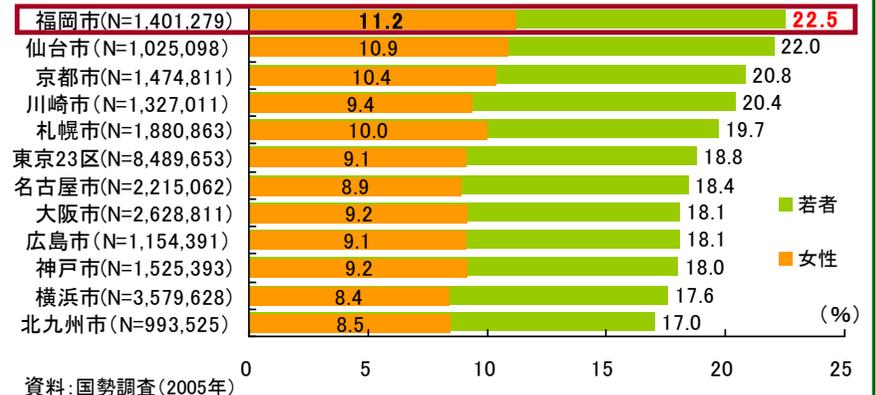
総人口に占める若者の割合(15歳~29歳・全体と女性)大都市比較
(2010年国勢調査抽出集計)



資料:平成22年国勢調査速報
(注)1%抽出による速報値

【参考 2005年】

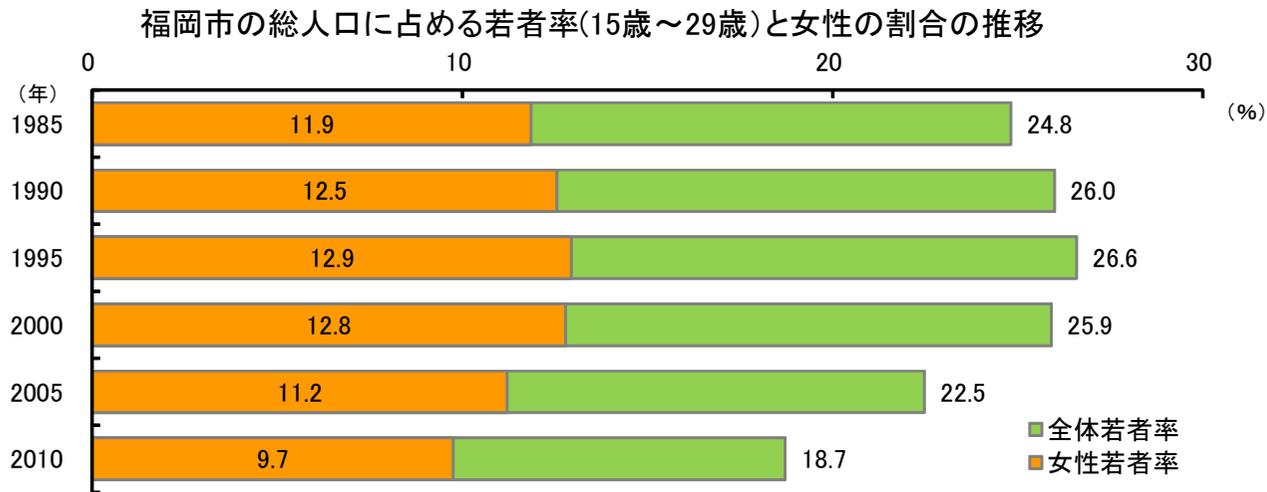
12大都市の総人口に占める若者率(15歳~29歳)と女性の割合



資料:国勢調査(2005年)

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

●福岡市の若者率は1995年にピークを迎え、この15年間で、若者率は減少に推移



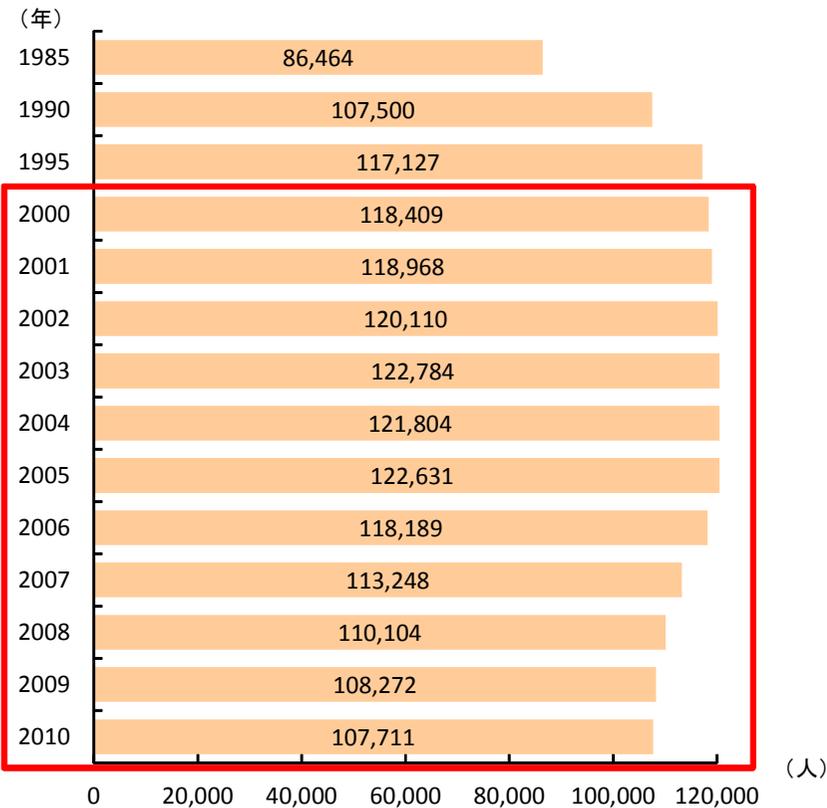
資料: 国勢調査

(注) 福岡市母数: 1985年(N=1,160,440)、1990年(N=1,237,062)、1995年(N=1,284,795)、2000年(N=1,341,470)、2005年(N=1,401,279)、2010年(N=1,476,000)※2010年は速報値

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

●この10年で、福岡市の高等教育機関の学生数は、約1万人減少

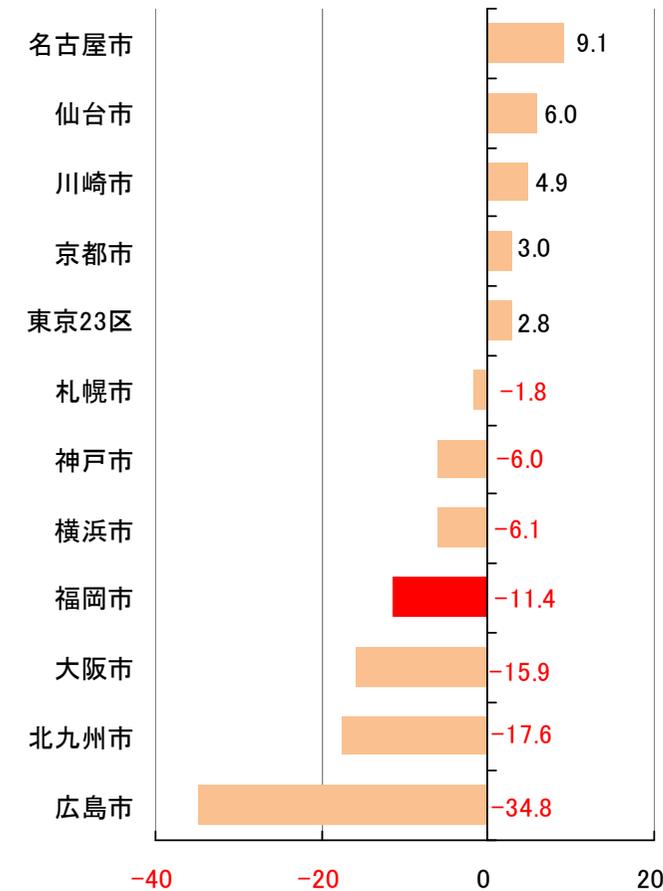
福岡市の高等教育機関学生数(大学・大学院、短期大学、高等専門学校)
* 各種学校には一部高等教育機関以外のものも含む



資料: 文部科学省(学校基本調査報告書)、教育委員会総務部企画課、
総務企画局企画調整部統計調査課

(注) 1995年までは「福岡市統計書」1997年以降は福岡市ホームページ
公表のデータによる

大都市における大学・短大の学生数増減率(1998年→2009年)

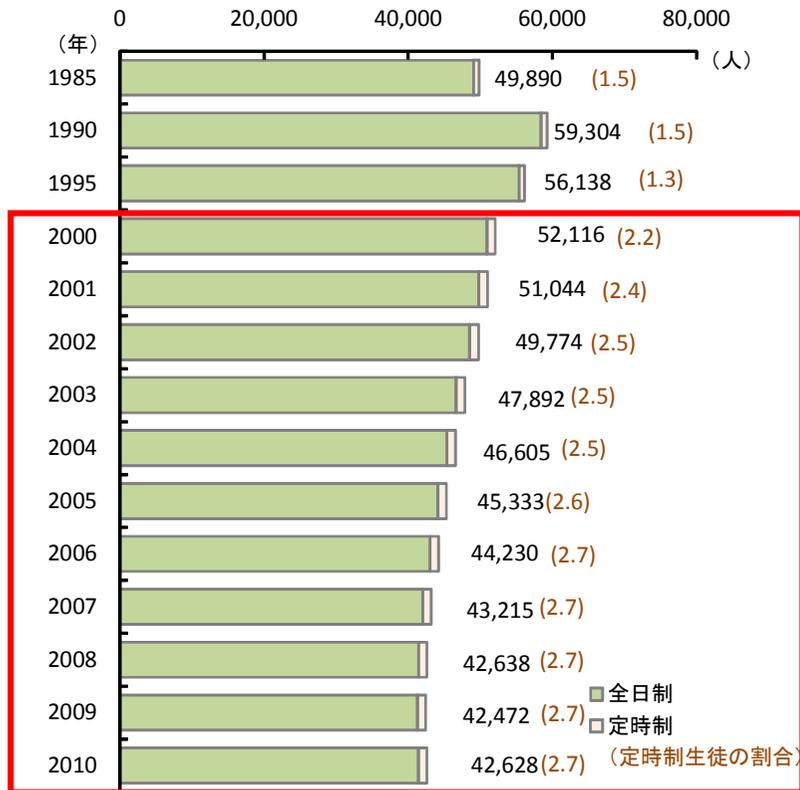


資料: 大都市統計協議会「大都市比較年表」

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

- この10年で、福岡市内高等学校の学生数は、約1万人減少
- 福岡市は、毎年約5千人の高校生が社会増(流入-流出)

福岡市の高等学校(全日制・定時制計)生徒数と
定時制生徒の割合推移



資料: 福岡県企画・地域振興部調査統計課
(注)本科生徒のみで専攻科は含まない

福岡市における中学校卒業後の進路別卒業生数の推移



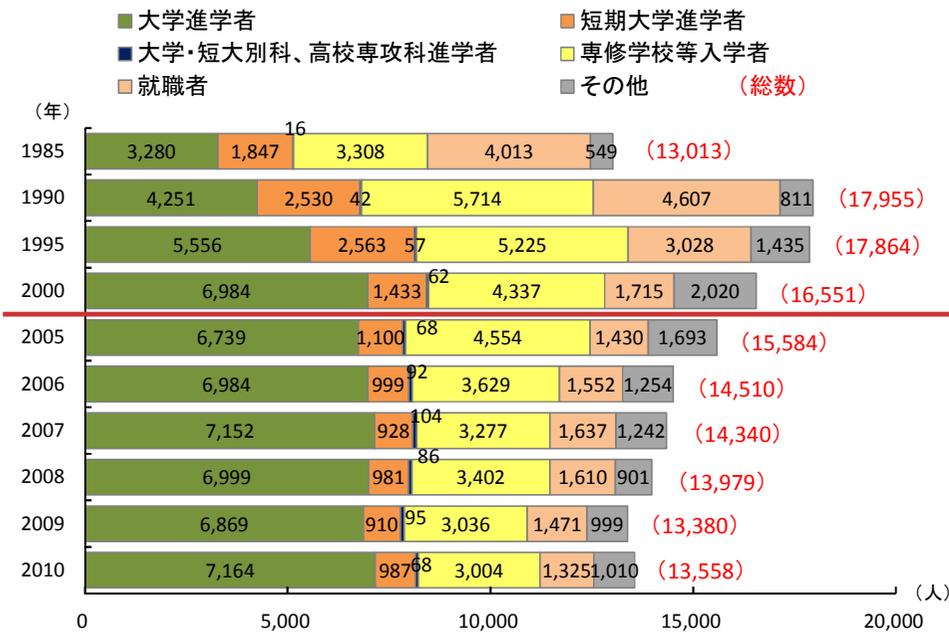
資料: 1985年~1995年教育委員会総務部総務課
2000年~2010年福岡県企画・地域振興部調査統計課
(注)高等学校等進学者は高等学校、高等専門学校、特別支援学校高等部進学者計

この3年間に中学卒業後、高校に進学した人37,503名
2010年の市内の高校生数42,628名
+5125名

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

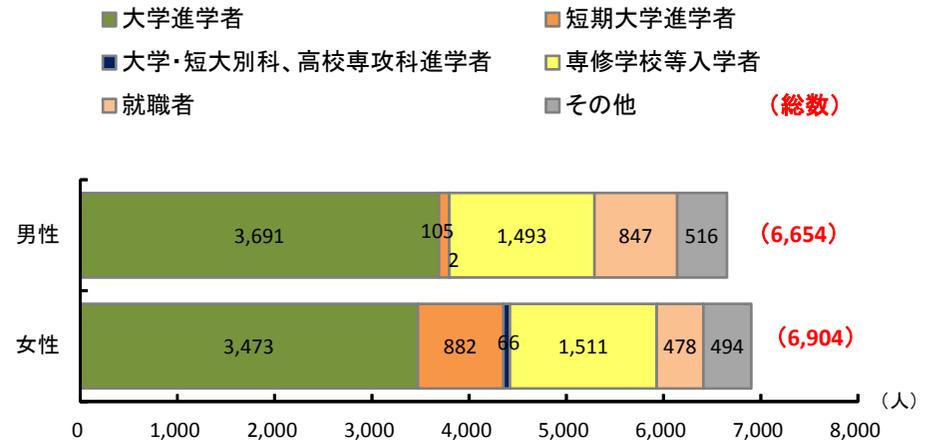
●この25年で、高校卒業後は、大学に進学する人が増え、就職者は減少

福岡市における高等学校卒業後の進路別卒業生数の推移



資料：1985年～1995年教育委員会総務部総務課
2000年～2010年福岡県企画・地域振興部調査統計課

福岡市における高等学校卒業後の男女別にみた進路別卒業生数(2010年)

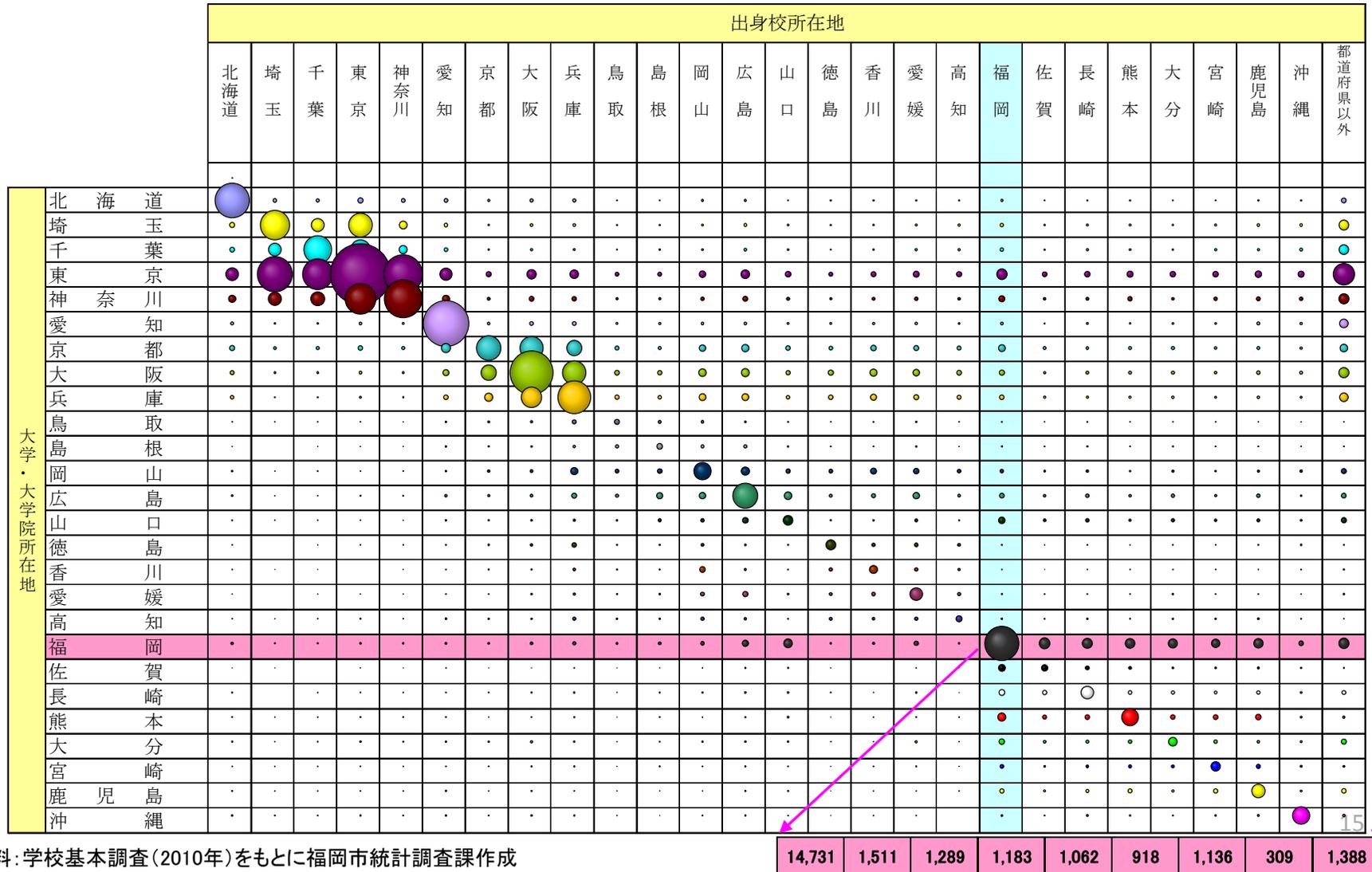


資料：福岡県企画・地域振興部調査統計課

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

- 福岡(県)の高校生のほとんどが福岡県内の大学に進学
- 福岡県の大学・大学院生のほとんどが、九州山口地域の出身、そして留学生も健闘

大学への入学者数と入学した学校の所在地と学生の出身校所在地(2010年)

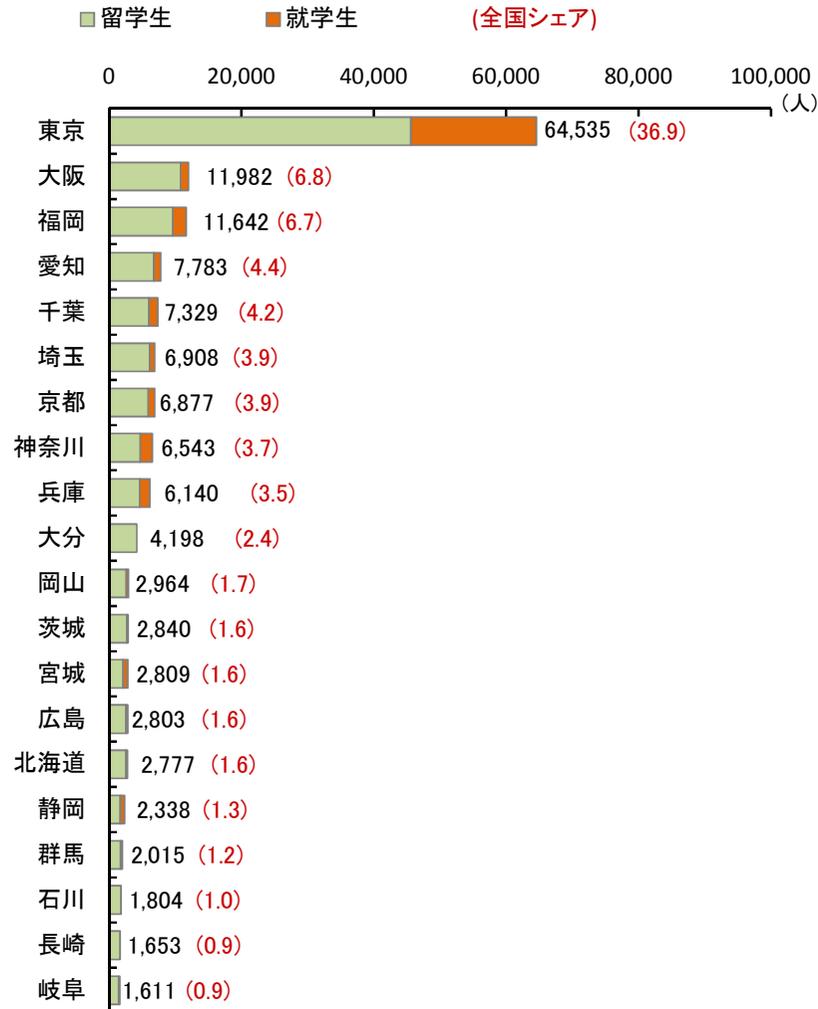


資料: 学校基本調査(2010年)をもとに福岡市統計調査課作成

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

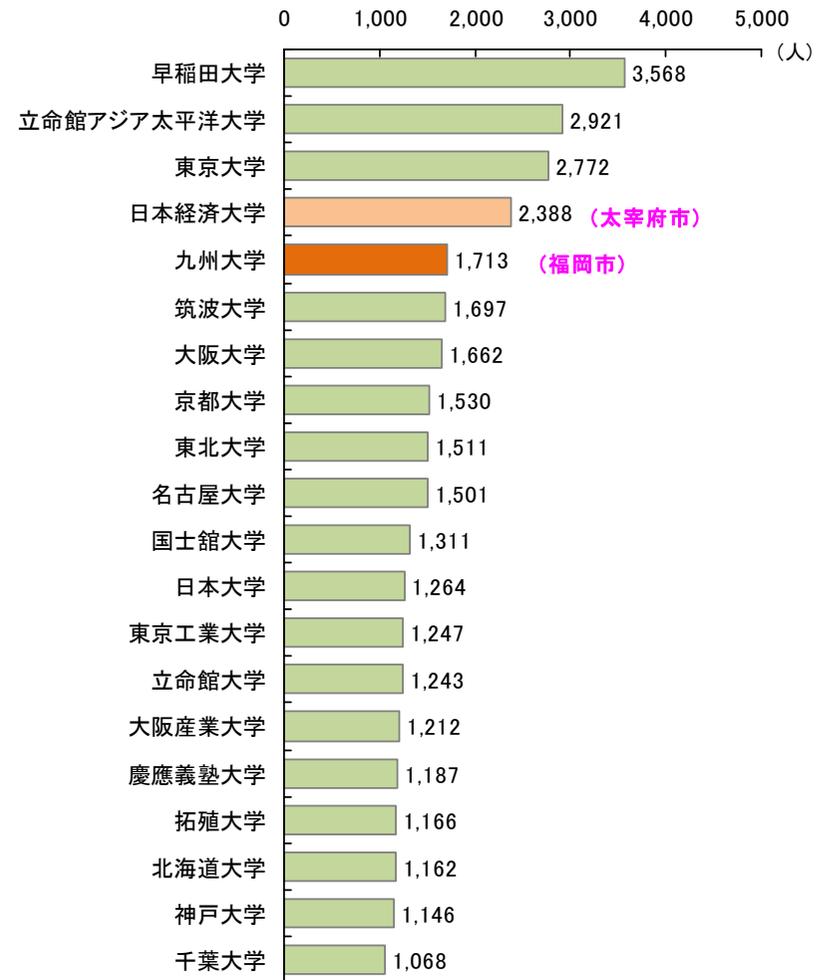
●福岡(県)は、全国でも留学・就学生が多い地域

留学生・就学生受入上位都道府県(2010年)



資料:(独)日本学生支援機構「平成22年度外国人留学生在籍状況調査結果」
(注)2010年5月1日現在在籍数

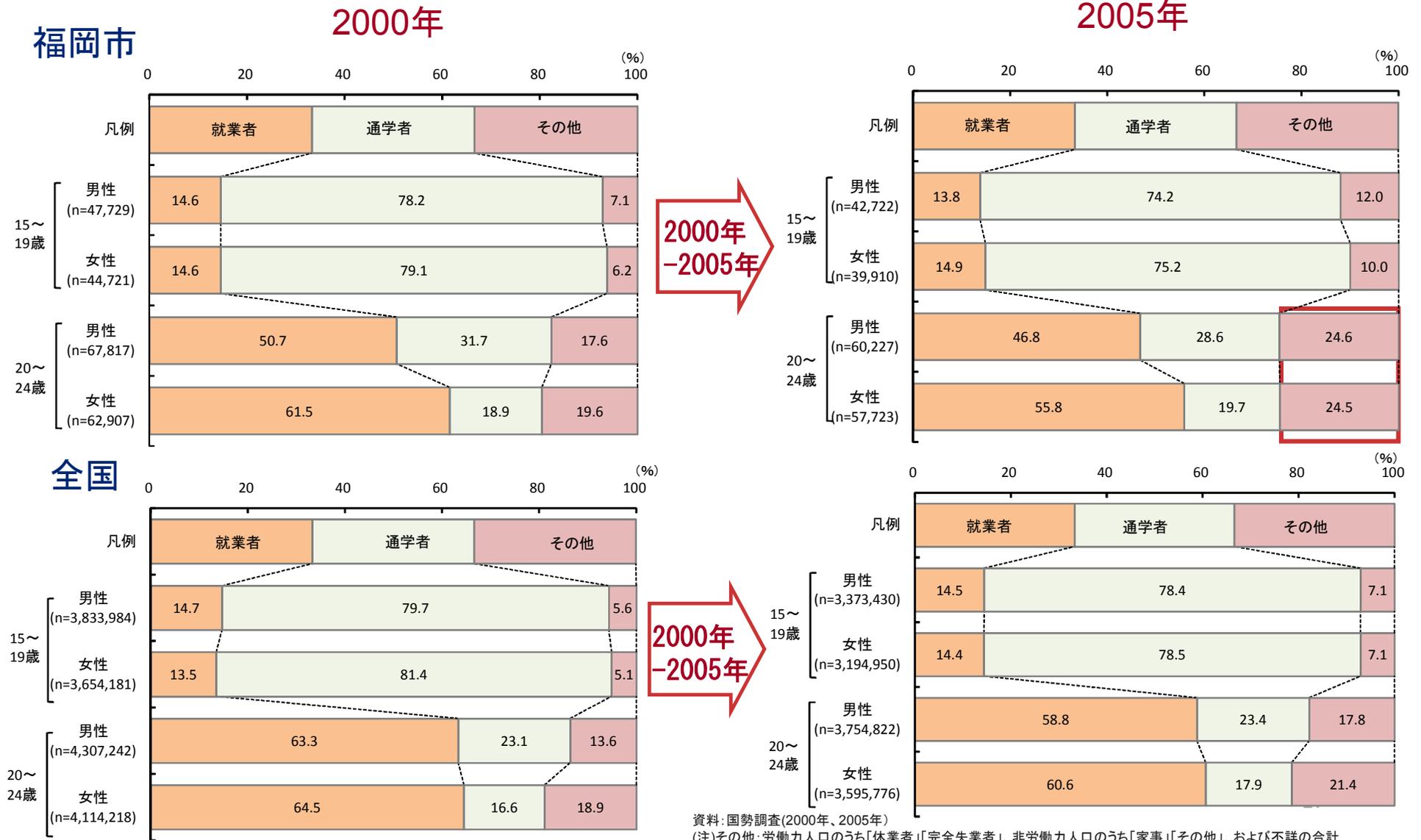
国内の留学生受入数上位大学



資料:(独)日本学生支援機構「平成22年度外国人留学生在籍状況調査結果」
(注)2010年5月1日現在在籍数

II. 福岡の今と未来(2)次世代の担い手たち

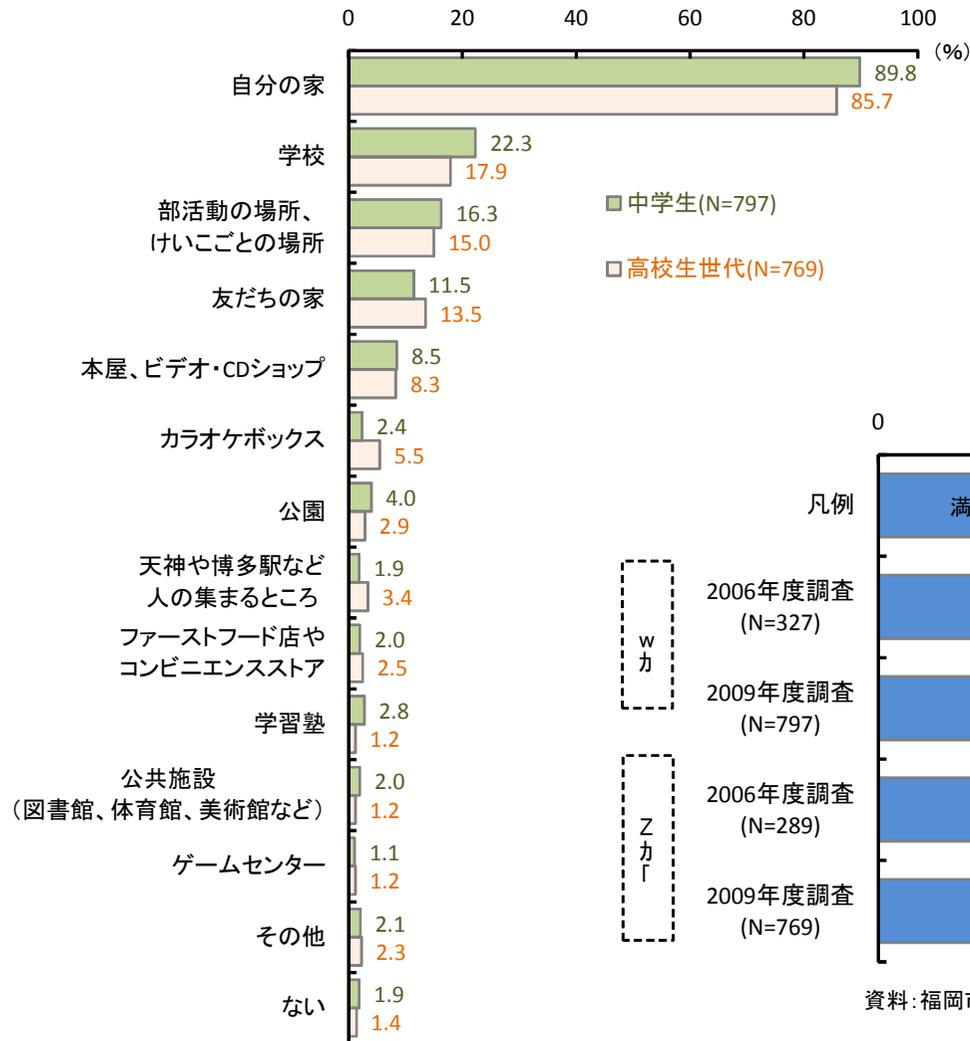
●福岡市は、20～24歳の市民のうち、4人に1人が、就業・通学していない(2005年)



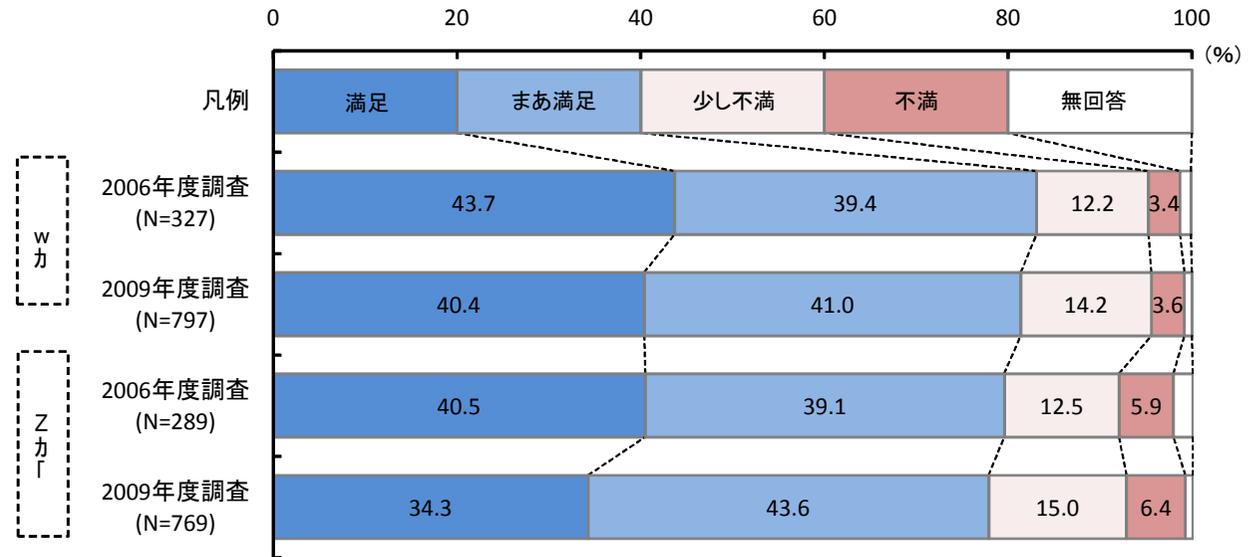
II. 福岡の今と未来 (3)次世代と家庭・社会

●福岡市の中高生世代は、自宅が最も居心地がよいが、家庭生活の満足度は低下傾向

福岡市の中高生世代の居心地のいい場所



福岡市の中高生世代 家庭生活の満足度

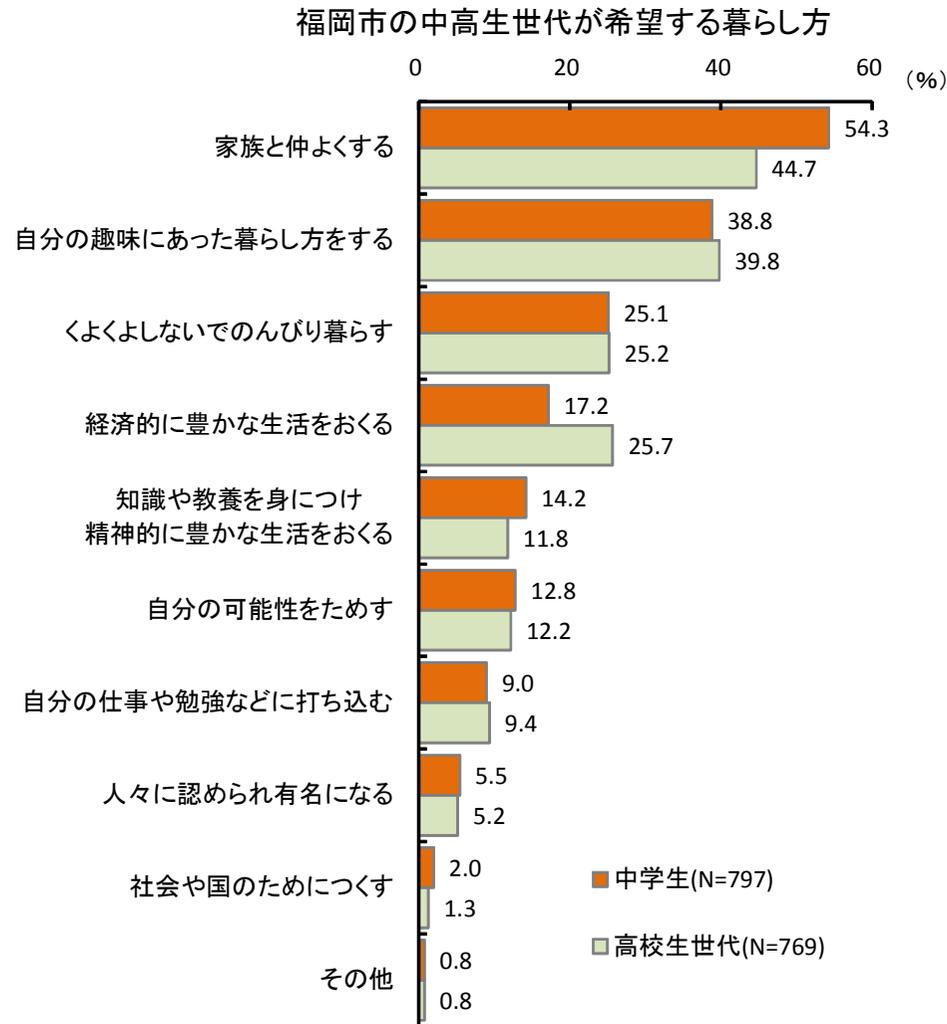


資料：福岡市「次世代育成支援に関するアンケート調査(中高生等)」(2009年)

資料：福岡市「次世代育成支援に関するアンケート調査(中高生等)」(2009年)
(注)回答は2つまで

II. 福岡の今と未来 (3)次世代と家庭・社会

●福岡市の中高生世代は、**家族、趣味、のんびり**、を大切にする暮らし方を希望

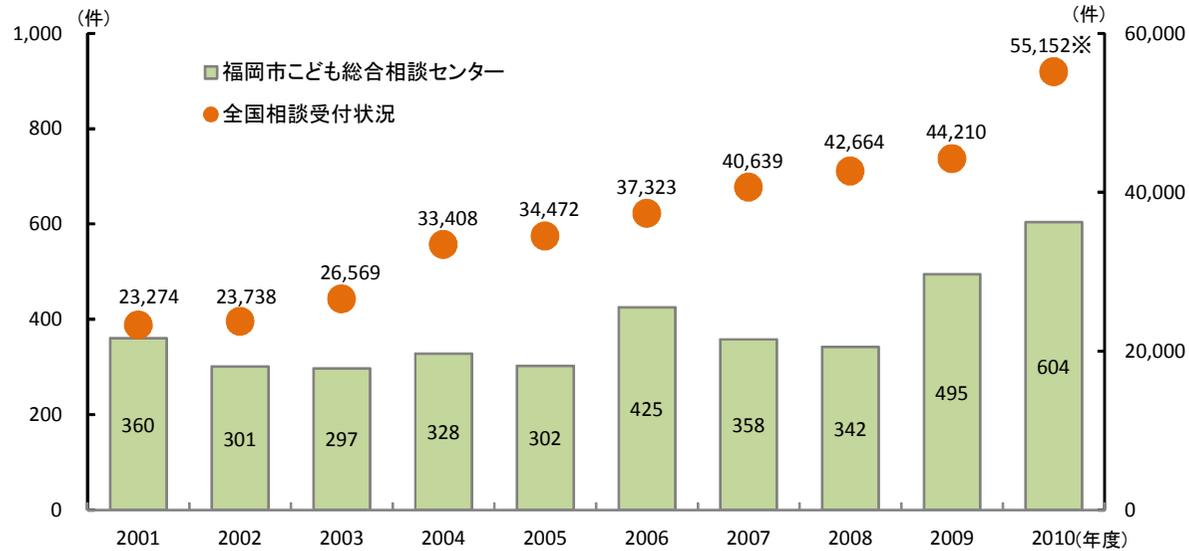


資料:福岡市こども未来局「平成21年度次世代育成支援に関するアンケート調査」
【中学生・高校生等、青年】2009年7月

II. 福岡の今と未来 (3)次世代と家庭・社会

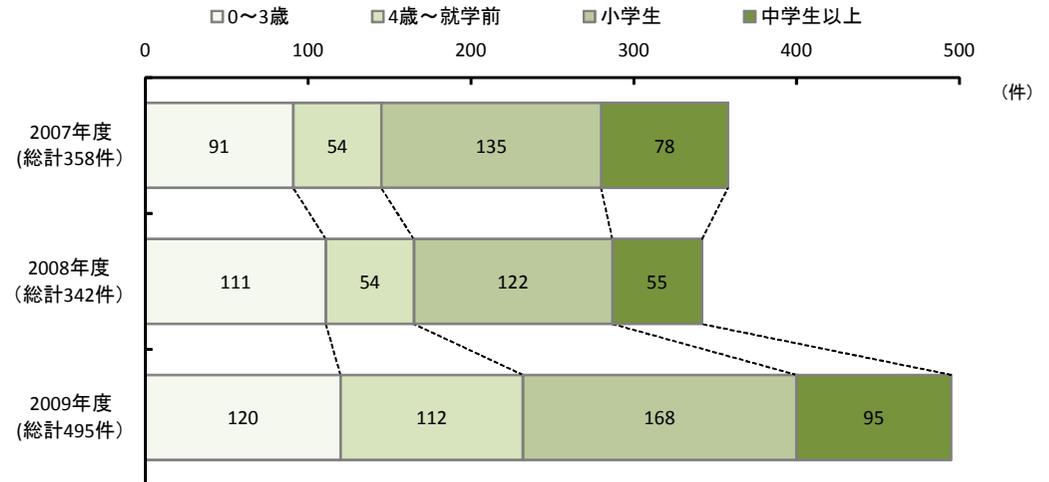
●こどもの虐待相談件数はこの数年増加傾向、虐待を受ける児童の年齢は広範囲

福岡市子ども総合相談センターと全国の虐待相談件数推移



資料：福岡市「平成23年度第1回福岡市子ども虐待防止活動推進委員会資料」(2011年6月)
厚生労働省「児童相談所における児童虐待相談対応件数」(2011年7月20日報道発表資料)
(注)2010年度の全国の件数は、宮城県、福島県を除いて集計した速報値

福岡市子ども総合相談センター 児童虐待相談の年齢別内訳

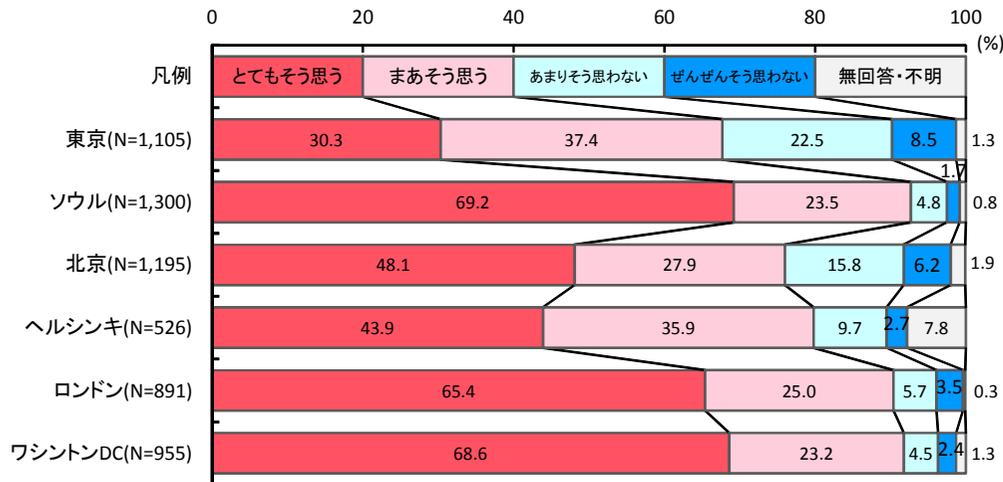


資料：福岡市「少子・高齢化対策特別委員会資料」(2011年1月)

II. 福岡の今と未来 (4)世界のこどもの将来観

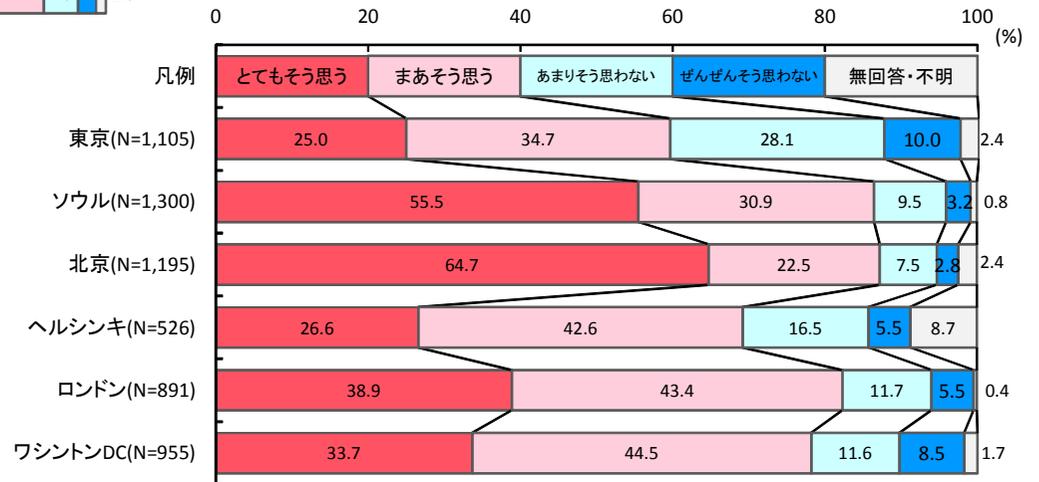
●日本(東京)の小学生は、世界都市の小学生にくらべて、のんびり志向

国際6都市の小学生比較
(わが国は、)努力すればむくわれる社会だと答えた小学生(10歳、11歳)の割合



資料: Benesse教育研究開発センター「学習基本調査・国際6都市調査」2008年

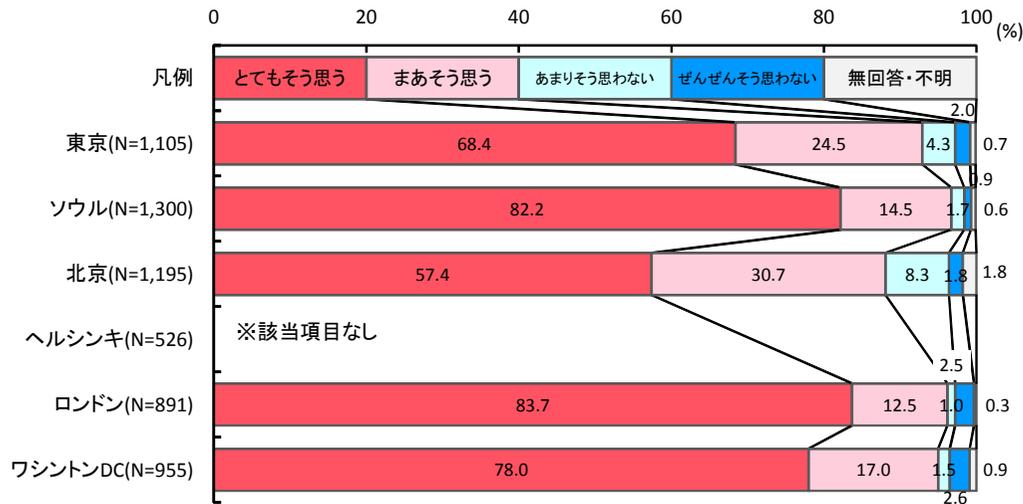
国際6都市の小学生比較
(わが国は、)競争がはげしい社会だと答えた小学生(10歳、11歳)の割合



資料: Benesse教育研究開発センター「学習基本調査・国際6都市調査」2008年

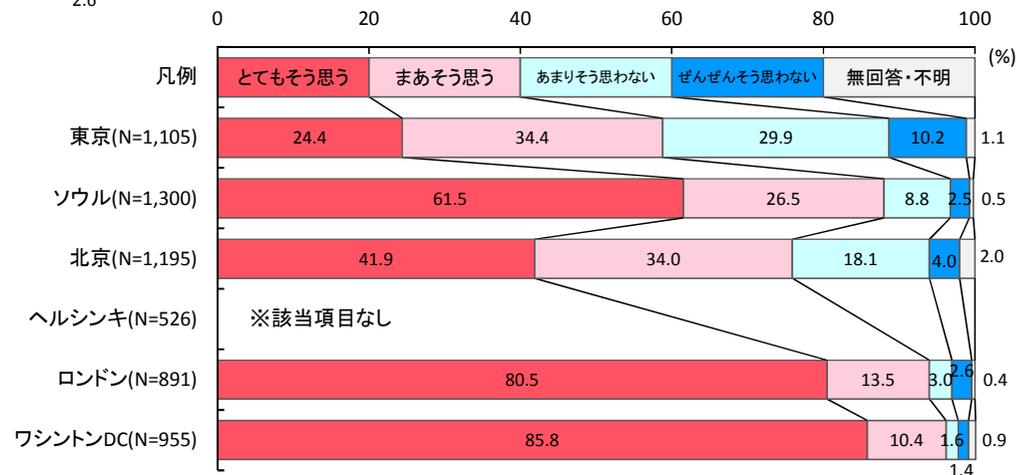
II. 福岡の今と未来 (4)世界のこどもの将来観

国際6都市の小学生比較
いい友達がいると幸せになれると答えた小学生(10歳、11歳)の割合



資料: Benesse教育研究開発センター「学習基本調査・国際6都市調査」2008年

国際6都市の小学生比較
いい大学を卒業すると将来、幸せになれると答えた小学生(10歳、11歳)の割合

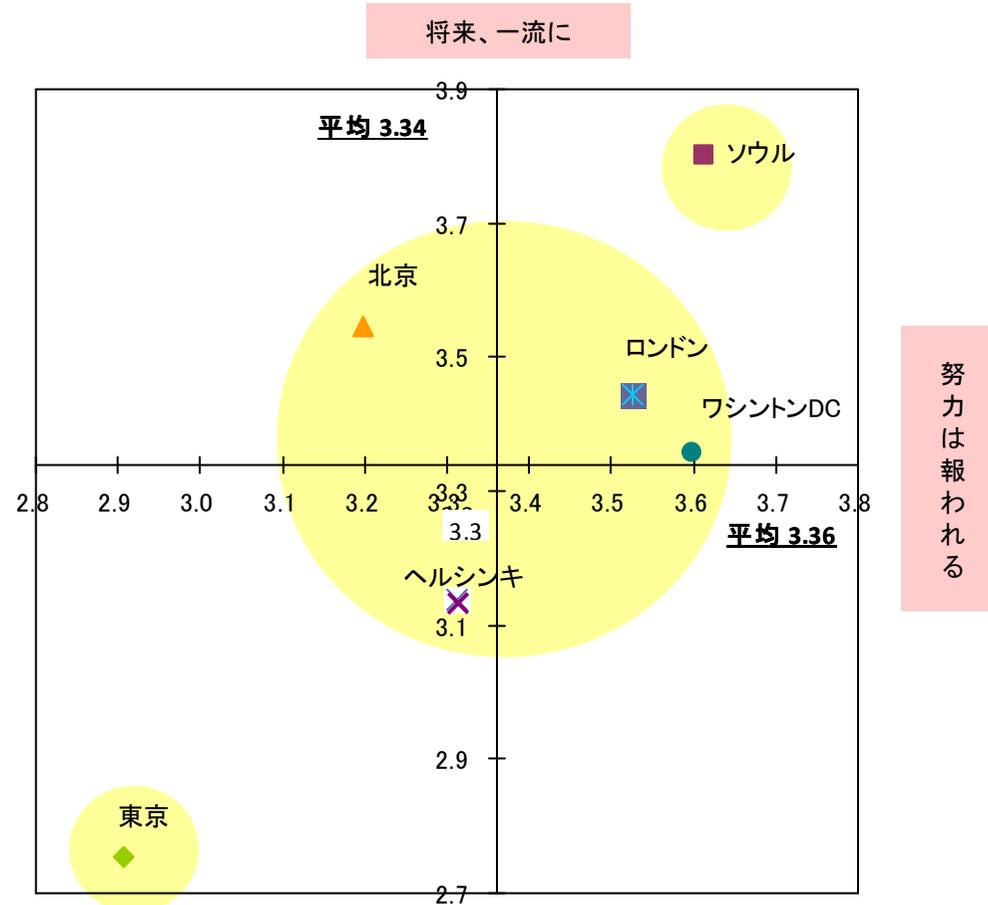


資料: Benesse教育研究開発センター「学習基本調査・国際6都市調査」2008年

II. 福岡の今と未来 (4)世界のこどもの将来観

●日本(東京)の小学生の将来観は、世界都市の小学生とくらべて消極的

国際6都市の小学生比較 ～社会観と一流志向の関係～



資料: Benesse教育研究開発センター「学習基本調査・国際6都市調査」2008年

(注1)「(わが国は、)努力すればむくわれる社会だ」「努力は報われる」と「将来、一流の会社に入ったり、一流の仕事につきたい」「将来、一流に」に対する回答について「とてもそう思う」を4点、「ぜんぜんそう思わない」を1点とし、それぞれの項目について都市ごとに平均値を算出した。

(注2) 平均は6都市の平均値を示している。

II. 福岡の今と未来(5)国を超えるこどもたち

●アジア太平洋子ども会議イン福岡は、多様な文化交流を通じてクリエイティブな人材を育成

1988年～2008年（20年間）

- ・ 子ども大使（アジア太平洋地域から福岡にやってきたこどもたち） 7,144人
- ・ シャペロン（随行員） 1,003人
- ・ ピース大使（10回目以降、再度福岡にやってきた子ども大使） 404人
- ・ ホストファミリー 5,489人
- ・ 派遣事業参加者 1,926人
- ・ 市民ボランティア（2008年7月18日現在） 約4,800人



資料：アジア太平洋子ども会議・イン福岡20周年記念誌（2008年7月）

II. 福岡の今と未来(6)国際的評価を受けるまち

- イギリスの雑誌モノクルにて**最も住みやすい都市の17位⇒16位⇒14位⇒16位**
- モノクルでは**2008年「ショッピング・ベストシティ」**にも選出

福岡は親しみやすく国際的だが、東京に比べれば規模の小さい都市だ。しかし食事と買い物では日本の首都を上回る。だからこそモノクルが選ぶ「ショッピング」のベストシティは福岡で決まりだ。



Fukuoka world's 1st shopping city
17th most livable city:
Monocle magazine (LONDON) 2008



Hottest 10 cities
in the world:
Newsweek 2006



Asia's Best cities
1997 **1st**
1998 **2nd**
1999 **1st**
2000 **1st**
Asiaweek

魅力ある 地方都市 ランキング 50

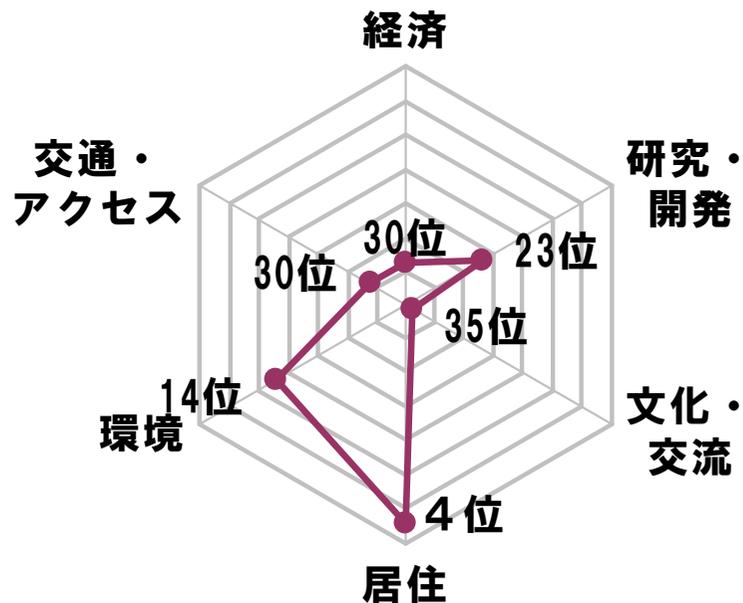
1位 福岡市	●福岡県 活動力の増えの勢、実勢の域に達したカネと力でカルチャーUP。
2位 京都市	●京都府 西の都・京都。美・カルチャー・観光スポットと高いバランスが魅力。
3位 札幌市	●北海道 新鮮な食料と美しい自然に加え、体感アートで新人気スポットに進化。
4位 奈良市	●奈良県 歴史的1,200年を誇る千年。緑豊かな街々と観光で驚かすこと。
5位 那覇市	●沖縄県 世界のダイバーも訪れる美しい海と自然に愛される沖縄の中心地。
6位 金沢市	●石川県 金沢1世紀美術館を中心とした創作力が成功。地方活性化の発祥都市。
7位 高松市	●香川県 アートシティが活著。うどんツアーとのギャップで幅広い層を獲得。
8位 松本市	●長野県 古くから異国が共存に発展を。存続の異国フォームで人気上昇中。
9位 盛岡市	●岩手県 歴史的建造物。そして文学・音楽スポットとしても人気の街!
10位 熊本市	●熊本県 ファッションシーンで異彩を放つ、隠れお宝スポット。
11位 仙台市	●宮城県
12位 高山市	●岐阜県
13位 益子町	●栃木県
14位 尾道市	●広島県
15位 弘前市	●青森県
16位 軽井沢町	●長野県
17位 大阪市	●大阪府
18位 鶴岡市	●新潟県
19位 森市	●山梨県
20位 小布施町	●長野県
21位 広島市	●広島県
22位 高松市	●香川県
23位 伊予市	●愛媛県
24位 名古屋市	●愛知県
25位 東京都	●東京都
26位 東京都	●東京都
27位 東京都	●東京都
28位 東京都	●東京都
29位 東京都	●東京都
30位 東京都	●東京都
31位 東京都	●東京都
32位 東京都	●東京都
33位 東京都	●東京都
34位 東京都	●東京都
35位 東京都	●東京都



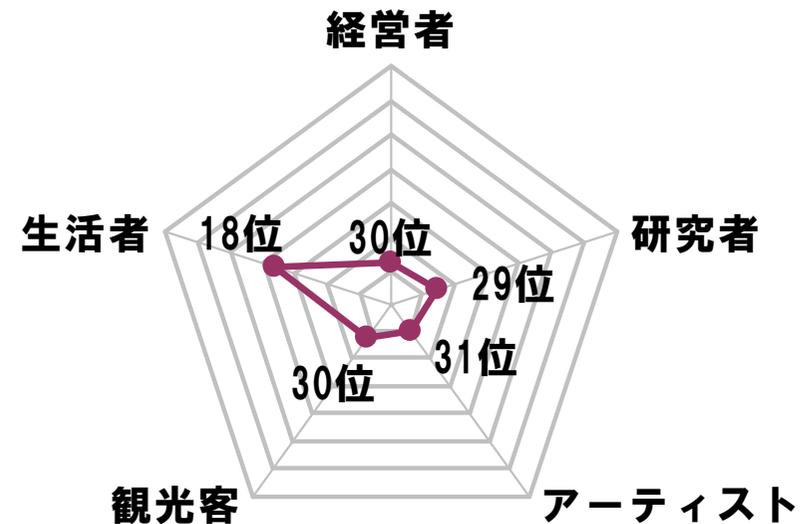
II. 福岡の今と未来(6)国際的評価を受けるまち

- 世界の都市総合力ランキング(森記念財団)では福岡市は28位
- しかし、分野別・アクター別で見ると、**文化・交流・経済・研究**などの面では評価は低迷

福岡市の**分野別**順位



福岡市の**アクター別**順位

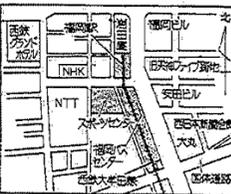


III. 25年前を思い出しつつ、25年後を展望

西日本新聞 昭和61年(1986)6月21日 土曜日

多機能16階ビル

福岡スボーツセンター跡地に、多機能16階ビルが建設される。このビルは、ホテル、プール、専門店、バスセンターを兼ねた複合施設として、市民の生活に大きく貢献する。また、周辺の環境整備も進められ、新しい街並みが生まれ、市民の生活の質が向上する。このビルは、福岡市の発展に大きく貢献する重要な施設である。



福岡スボーツセンター跡地再開発

ホテル、プール、専門店
バスセンターは南へ

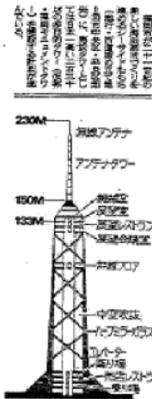
1986年6月21日西日本新聞朝刊

西日本新聞 (夕刊) 昭和62年(1987)5月14日 土曜日

高さ230m 日本一の海浜タワー



テレビ塔 展望レストラン
アジア博の象徴に



シーサイドももち(福岡市)に建設へ

歌
子育てを終えて「の道」

1987年5月14日西日本新聞夕刊

25年前に生まれた、現代の担い手 (1986年生まれ)

- 2月23日 三倉茉奈・佳奈
- 3月11日 篠田麻里子 (AKB48)
- 3月16日 高橋大輔
- 3月28日 レディー・ガガ
- 5月25日 上野樹里
- 6月13日 本田圭佑
- 6月15日 上田桃子
- 8月16日 ダルビッシュ有
- 8月21日 ウサイン・ボルト
- 8月22日 北川景子
- 9月12日 長友佑都
- 9月13日 小林可夢偉
- 10月1日 神田沙也加
- 11月17日 亀田興毅

<http://f-shinvision.jp>

本資料は、概ね翌週火曜日にはUPLします

全10回のデータは、新ビジョン基礎調査チームで作成いたしました。
秋吉加奈子、白水美津代、寺本雅子、畠山尚久、山下永子